

坂と丘がつくりだす文化交流都市 ～渋谷区桜丘町空間再編計画～

都市空間生成研究室

1641044

加藤 雄太

桜丘町
ファサード

渋谷再開発
道路空間

空間再編計画
都市デザイン

1. 研究の目的と背景

東京都渋谷区桜丘町は、渋谷駅に隣接しながらも、住宅の割合が高く、昔ながらの地域に根差した商業も多く存在し、昭和を彷彿とさせるのんびりとした街並みが残るエリアである。しかしながら、桜丘口再開発により 2.6ha もの敷地が一体的に整備されるため、今後まち並みや人の動線は大きく変化する。現在渋谷駅周辺全体として、文化やまち並みの歴史が重要視される中、特に大規模な空間再編が起ころうとしている桜丘町において、将来構想を模索することは非常に大切であると考えたことが本研究をするにあたる動機である。

本研究の目的は、桜丘町の空間特性や文化の歴史と現状を精査して読み解いた上で、桜丘口再開発との関係性を考慮しながら、未来の桜丘町がより魅力的なまちとなる為の空間デザインを行うことである。桜丘町がもつ独特な文化や街並みが、渋谷全体の大規模再開発の流れによって減じてしまうのではなく、それらがまち全体に発信される事で強化され、桜丘口再開発と上手く混ざり合い、相乗効果的に魅力的な文化とまち並みが築き上げられるための空間デザインを目指す。

2. 研究の方法

本研究では、空間デザインをするにあたり、桜丘町の地域特性を明らかにするために以下の3つの方法で調査を行った。

- ① 文献による歴史の調査
- ② 現地実測による空間特性の調査
- ③ 社会実験によるアンケート調査

3. 渋谷区桜丘町の地域特性

3-1. 対象敷地

桜丘町は渋谷駅から南南西方向に位置している。国道 246 号線と JR 線により隔てられたエリアであることが図 1 から分かる。

桜丘町では、桜丘口再開発が進行中であり、合計 5 棟の建物が新築されるほか、渋谷駅から丘の上広場(仮称)までデッキが架けられ、フラットな状態で桜丘町の丘の頂上までアクセスが可能になる。地上レベルでは都市計画道路 18 号が新設され、動線が大きく変わる。^{*1}

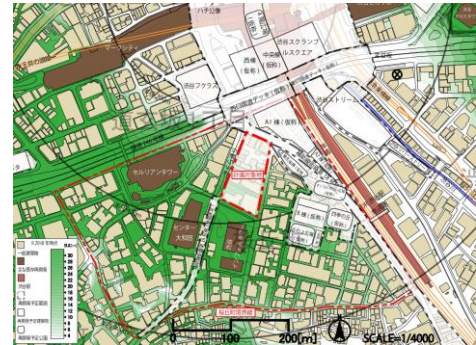


図 1 対象敷地

3-2. 渋谷区桜丘町の歴史の変遷

渋谷駅周辺は複数の電車開通と共に商業が発展していき、賑わいを見せた。ワシントンハイツの文化影響を色濃く受けつつ、様々な文化の発信拠点となった渋谷駅であるが、首都高 3 号により、桜丘町はそれらの文化と独立したまち並みが形成された。

3-3. 渋谷区桜丘町の空間特性

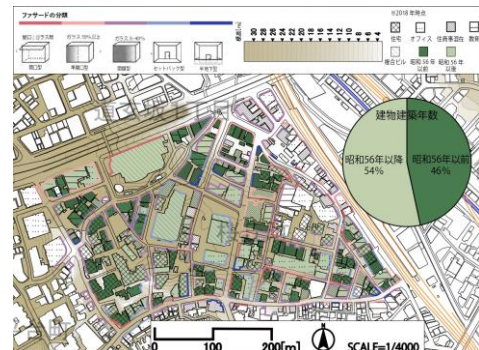


図 2 桜丘町の建物用途・ファサード

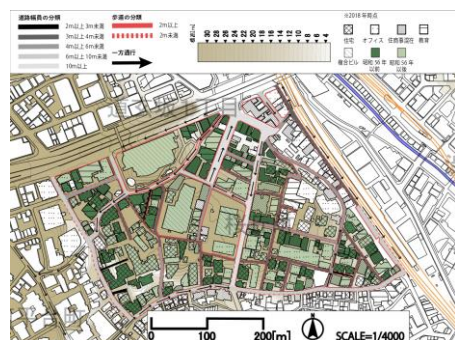


図 3 桜丘町の道路状況

図2から、桜丘町においては商業の歴史の薄まり、ストリートとファサードのミスマッチ、多くの老朽化した建物の点在が課題として見えてきた。また図3からは、桜丘町の道路は全体的に狭路ではあるが、歩行者を中心とした特徴を持ったまちであることが明らかになった。

3-4. 渋谷区桜丘町の文化

桜丘町では、桜のまち、専門学校とクリエイターのまち、音楽のまち、劇場のまちとしての文化が根強く存在することが明らかになった。

3-5. 渋谷区桜丘町での社会実験によるアンケート調査



図4 歩行者利用ルート of アンケート調査結果

アンケート調査から、桜丘町では坂伝い、尾根伝いの様々な動線が見えてきた。また、憩いの場としてのスペースが桜丘町には少ないことも明らかとなった。

3-6. まとめと考察

以上の調査結果から、下記の4つを意識して空間提案をする。

- ① さくら通りとより親しみやすい空間デザイン
- ② 様々な特徴を坂道があり、様々な坂の登り方、親しみ方のある桜丘町に豊かさを見出し、本計画ではより桜丘町の坂を大胆に感じるものの出来る空間を提案する。
- ③ 丘の様々なレベルに憩いの場が存在し、憩いの場で行われる大小様々な行為がまち並みに溶け込む空間デザイン。
- ④ 昔ながらの桜丘町の文化を未来に繋げる為に、気づきにくい小規模な桜丘町の文化を集約し、文化交流拠点となる空間を提案する。

4. 計画案

4-1. コンセプト

「桜丘町」という名称からも読み取れるように、起伏に富んだ丘地形は、桜丘町のまち並みの歴史や骨格として、常にまち並みの特性を私たちに伝えてくれている。今回の計画では、このような起伏に富んだ丘地形をリスペクトし、坂道ののぼり方に着目し、桜丘町における様々なのぼる体験を空間デザインとして提案することを本計画のコンセプトとする。

4-2. 空間構成



図5 全体パース



図6 文化交流が行われる広場

音楽・芸術・劇場のまちとして特徴のある桜丘町において、それらの文化を集約するコアを作成し、コアの外周を広場とスロープによって覆った。点在する広場では、座りくつろぎながら休憩出来るほか、空いたスペースでは路上パフォーマンス、路上ライブを自由化することで、な文化を文化交流地点として機能する。

点在する広場同士はスロープによって繋がり、坂によって文化が緩やかに繋がる。

5. 結論

本計画では、桜丘町における豊かさを、地形と文化の2つの観点から捉え、これらの2つの豊かさを繋ぎ合わせるように、桜丘町の小さな文化を集約し、地形と組み合わせることで体験することの出来る空間デザインを行った。このように、様々な文化や地形の文脈が存在する渋谷駅周辺においては、地形と文化を上手く融合させた施設が今後求められるのではないだろうか。

注

- 1) 渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合、渋谷駅桜丘口第一種市街地再開発事業の概要、渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合、2018年

参考文献

- 1) 渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合、「渋谷駅桜丘口第一種市街地再開発事業の概要」、渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合、2018年
- 2) 渋谷区、渋谷駅中心地区まちづくり指針2010、渋谷区、2010年
- 3) 渋谷区、桜丘地区まちづくり検討会説明資料、渋谷区、2014-2017年
- 4) 東急電鉄株式会社、渋谷再開発情報サイト、

[<https://www.tokyu.co.jp/shibuya-redevelopment/index.html>], 最終閲覧日 2020年1月9日